

小林研一郎 華麗なる世界

2022年6月11日(土) <14:00開場> 15:00開演

小林研一郎 (読響・特別客演指揮者)

「ゴバケン」の愛称で親しまれ
81歳の今も情熱的なタクトで
聴衆を魅了する巨匠

服部百音 (ヴァイオリン)

音楽一家・服部家に生まれ、
数々の国際コンクールで優勝し
テレビなどでも注目を浴びる新星

©Chihoko Ishii

躍動のリズムと輝かしい響き。
興奮のクライマックス！
心震わす“家路”のメロディ。
ドヴォルザークの名旋律が、
未来への希望として響く！

ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番
ドヴォルザーク：交響曲第9番「新世界から」

読売日本交響楽団

©読売日本交響楽団

熊谷文化創造館さくらめいと
太陽のホール

【発売開始】2022年3月10日 10:00～

全席指定(税込)

S席(1階) ¥7,500 A席(2階) ¥5,500
B席(2階バルコニー) ¥4,500

U25 ¥2,500

U25 設定

※U25: 入場口で年齢の確認できるものを
ご提示いただけます。※未就学児入場不可。

さくらめいとチケットセンター ☎ 048-532-9090
(10:00～17:15 火曜休※祝日の場合は翌日)

八木橋百貨店5階プレイガイド(熊谷市) ☎ 048-523-1111(代)

宮脇書店 行田店 ☎ 048-554-6300

チケットぴあWEB Pコード<209-014>

チケット取扱い

その他注意事項

館内託児サービス/有料予約制 こたぶきキッズルーム
☎ 048-532-2916(月～金10:00～16:00)
FAX 048-532-2895(随時)

JR高崎線・籠原駅(南口)より無料送迎バス運行
【行き】14時から約15分間隔で4便 【帰り】終演後随時

・無料駐車場400台。収容台数には限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、満車の場合は近隣有料駐車場をご利用ください。
・車いす席をご希望のお客様はさくらめいとチケットセンターへご予約ください。
・やむを得ない事情により一部変更する場合があります。

新型コロナウイルス感染拡大防止にあたり、注意事項が当館ホームページに掲載されております。あらかじめご確認のうえ、ご来場をお願いいたします。



▲ホームページ

日本のトップオーケストラ、読売日本交響楽団による熊谷公演

“炎のマエストロ” 小林研一郎が登場!

感動を呼び起こす華麗なる《新世界》

“コバケン”の愛称で親しまれ、絶大な人気を集める名匠・小林研一郎が登場! 渾身のタクトがエネルギー 漲る響きを読響から引き出し、会場を深い感動に包み込むでしょう。

メインはドヴォルザークの傑作交響曲「新世界」。シンフォニックで迫力あふれる第1楽章、“家路”のメロディで有名な第2楽章など、誰もが知る名曲中の名曲です。遠いアメリカから故郷ボヘミアへの想いを込めたドヴォルザークの旋律は、時代と国を越えて私たちの心に迫ります。終楽章では、金管楽器の壮麗な響きが輝かしいフィナーレを築き上げます。一音一音に情熱を込める小林の指揮は、華やかなサウンドを生み出して、聴衆を感動のクライマックスへと導くでしょう。

前半は、ブルッフのヴァイオリン協奏曲をお届けします。ロマン派を代表する名作で、ヴァイオリンの美しい旋律を堪能できる一曲です。ソリストを務めるのは、注目を浴びる新星・服部百音。服部良一、克久、隆之と3代続く作曲家の家に生まれ、幼少からその才能を発揮して数々の国際コンクールを制覇するほか、ベルリン・ドイツ響などの名門楽団と共演を重ねる実力派です。類まれな音楽性を持つ服部が、ブルッフの名旋律の数々を情緒豊かに歌い上げるでしょう。管弦楽との絶妙な掛け合いに期待が高まります。

世界的巨匠と新星ヴァイオリニストの競演をどうぞお楽しみください!



小林研一郎(指揮) Ken-ichiro Kobayashi, Conductor

情熱的な指揮で世界を舞台に活躍し続けるマエストロ。2011年から読響特別客演指揮者を務める。東京芸術大学作曲科および指揮科卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクール優勝。欧州の一流楽団を多数指揮しており02年「ブラハの春」音楽祭では東洋人として初めての開幕コンサートに招かれ、「我が祖国」をチェコ・フィルと演奏。ハンガリー国立響の音楽総監督、チェコ・フィル常任客演指揮者などを経て、日本フィル桂冠名誉指揮者、九響名誉客演指揮者、リスト音楽院名誉教授などを務めている。13年秋の叙勲で旭日中綬章が授与され、20年にはハンガリー国大十字功労勲章(最高位)を受章。昨年、恩賜賞・日本芸術院賞を受賞。



服部百音(ヴァイオリン)

Moné Hattori, Violin

才気あふれる演奏で注目を浴びる新星ヴァイオリニスト。桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース修了。2009年ヴィエニャフスキ国際コンクール(ジュニア部門)に史上最年少で優勝するほか、新日鉄住金音楽賞(フレッシュアーティスト賞)、アリオン桐朋音楽賞、ホテルオークラ音楽賞、出光音楽賞など多数の受賞歴を持つ。10歳から国内外で演奏活動を始め、ティチャーティ指揮ベルリン・ドイツ響、読響、N響、東響など国内外の主要楽団と共演。アシュケナージとスイス、イタリアで共演するなど活躍の場を世界に広げている。ロームミュージックファンデーション奨学生。使用楽器は日本ヴァイオリンより特別貸与のガルネリ・デル・ジェス。



読売日本交響楽団

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962年、日本のクラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。創立以来、世界的な指揮者、ソリストと共演を重ねている。2019年4月にドイツの名匠セバスティアン・ヴァイグレが第10代常任指揮者に就任。現在、名誉顧問に高円宮妃久子殿下をお迎えし、サントリーホールなどで充実した内容の演奏会を開催している。17年11月にはメシアン(アッジの聖フランチェスコ)(全曲日本初演)が好評を博し、『音楽の友』誌の「コンサート・ベストテン」で第1位となったほか、サントリー音楽賞を受賞。演奏会などの様子は日本テレビ「読響プレミア」で放送されている。

